



# 10 甘南備山

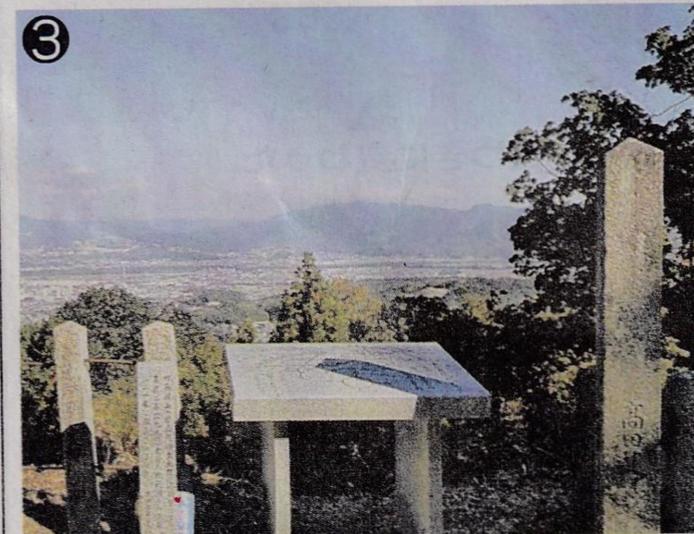


甘南備山は京田辺市西部にあり、大阪府枚方市との境界に位置する。頂上に神

奈備神社を祭る271坪の雄山と、201・6坪二等三角点の雌山が、なだらかな稜線を連ねている山だ。古くから、水鳥が取れる山として重要視され、神が依る山で「神奈備山」ともいい、近世まで女人禁制の山であったと聞く。桓武天皇の平安遷都の折は甘南備山の白石を基点とし、北の船岡山を結ぶ線に、朱雀大路を設定したという伝承もあり、今昔物語では山中にあった甘南備寺のミミズの説話が出てくる。

この山へは、近鉄新田辺駅かJR京田辺駅を出て正面の道路を西に向かう。府道八幡木津線を右折し、天井川を渡り、「一休とんちロード」へと左折する。広

## 神依る稜線 眺望満喫



い山手幹線を横断して酬恩庵門前に出て、さらに西の薪神社に向かい、本殿右の小公園を通り抜け、住宅街から川沿いの道を南西へと進む。京奈和自動車道の下を通り、狭い農道を進めば、正面に甘南備山が見えてくる。写真①。

農道分岐の小橋の脇に「左甘南備山登山道」の石柱が立っている。左方へ進むと駐車場があり、その先のチェーンゲートが登山口である。ゲート右脇から旧登山道を登り、100坪ほどで左への分岐を登ると、トイレのある「京セラの森」で管理道路に出合う。このコースの所要所には道標が設

置されている。管理道路をしばらく登ると水タンクがあり、その脇の「ナナカマドの小径」に入り、すぐに右上の分岐する道を登ると、左からの道と合流して、急坂を乗り切ると高床展望台に着く。写真②。京都方面の眺望が素晴らしい。眺めを楽しんだら、広い登山道から手すりのある舗装路を登ると「神奈備神社」に着く。立派な御影石の方位盤があり、木津川や鷺峰山方面の展望が楽しめる。写真③。この神社裏手の高台が雄山である。

次に神社裏から北の三角点へと向かう。鞍部で管理道路に出合い、道標に従いひと登りで雌山の三角点に着く。ここも京都市方面が大きく開けている。下山路は、そのまま進んで藤棚を過ぎ、展望のない樹林の中を下る。小橋を渡り竹林に出ると川沿いの農道で、やがて「左甘南備山登山道」のある石柱の分岐に着く。時間があれば酬恩庵拝観をお勧めしたい。歩行距離約3・3キロ。歩行時間約2時間。

（日本山岳会京都・滋賀支部 岡田茂久）

※日本山岳会など山岳4団体は、新型コロナウイルス緊急事態宣言解除後の登山について指針を示しています。

アクセス 近鉄新田辺駅またはJR京田辺駅が最寄り。薪神社から登山口へ。マイカーなら府道八幡木津線薪付近の交差点

を西へ、山手幹線の手原川脇交差点から手原川沿いの道を登山口へ。10台ほど駐車可能。